

## 令和元年度 第5回「生活支援基礎研修」

令和元年7月22日に、東京駅近くの貸会議室プラザ八重洲北口にて、一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会 令和元年度 第5回「生活支援基礎研修」を開催しました。今回の研修には全国6ブロックから31名の施設長、生活相談員、看護師、理学療法士、介護職や事務員の方々が参加されました。

講義内容は「軽費老人ホームの制度の歴史と変遷」、「軽費老人ホームにおける現状の理解」、「コンプライアンス・リスクマネジメント」、「入居者支援や地域支援の在り方」、「先駆的实践事例の紹介」、「今後の軽費・ケアハウスの展望」と題して、6つの講義が行われました。

受講者からは、「法的根拠を改めて勉強しなおしてみたい。それを持って働くと、道筋が見え易くなると思うので。（軽費老人ホームの制度の歴史と変遷）」といった感想や、「自分が、介護のプロとして自覚しなくては！と思いました。安全確認が必要だと思いました。（コンプライアンス・リスクマネジメント）」、「軽費・ケアハウスは地域のHUBという考え方に共感しました。専門的生活支援技術の意識の大切さを

知りました。(入居者支援や地域支援の在り方)」、「自分の地域を大切にす視点を持って、自分たちの施設の行いを見直して行きたいと思いました。(今後の軽費・ケアハウスの展望)」といった声を頂き、とても好評でした。

研修の後には情報交換会が開催され、研修受講者と講師陣、合わせて 25 名の参加を頂きました。ここでは、受講者の皆さん同士で自施設の取組みや日頃の業務で困っていることなど、日々の色々な話を情報共有されたり、講師陣に講義中は聞けなかった、より具体的・専門的な話をされたりと、皆さんとても有意義な時間を過ごされていました。

ご参加いただいた皆様には、改めて軽費・ケアハウスの歴史と現状を正しく知る機会となり、先駆的实践事例や他施設の活動などが今後の施設運営の参考になればありがたいと思っています。

また、生活支援基礎研修ではこれからも多くの社員の皆様に関心を持って頂けるよう、軽費・ケアハウスに特化した研修を続けて参りたいと思います。今回受講していただいた皆様、どうも有り難うございました。

今年度も、令和 2 年 3 月に西日本での開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

<講義風景>

●真下弁護士による「コンプライアンス・リスクマネジメント」



●保岡理事による「先駆的实践事例の紹介」



●川西理事長による

「今後の軽費・ケアハウスの展望」とディスカッション





●川西理事長より受講者に修了証が渡されました。

